

町コミュニティ・スクール関係代表者意見交換会 における各種意見

[開催日等] 令和3年10月17日(日) 10:00~11:56 / 会場：山村開発センター

[参加人数] 約60名(関係代表者、一般参加者、学校運営協議会関係者、教育委員会事務局)

⇒一般参加者：町教育委員、町社会教育委員、学校運営協議会委員、学校・こども園関係者

※学校長より各学校の現状と課題のまとめ(一部抜粋)

学校名	現状と課題(話題提供)
西海小学校 (森山校長)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生と2年生は1桁の児童数だが、デメリットとしては児童の様々な意見を取り入れながらの授業展開が難しいところ、また体育などでドッチボールなどの団体競技がなかなかやれないことが多い ・メリットとしては、児童一人一人に先生が目が行き届き、個性を伸ばしやすく、苦手教科にもいち早く対策を講ずることができる ・複式学級の準備を進めており、設備等は町教委と協議している
舞戸小学校 (藤田校長)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べて児童数が増えた最近では珍しい学校であるが、現在の5~6年生の人数が多いので、徐々に減っていき再来年度以降は全てが1クラスになる見込み ・現在、1クラス35人で、あと1人増えると2クラスになれる学年もある ・本校は支援を必要とする児童が多いため、町支援員が他より多く5名配置されている
鱒ヶ沢中学校 (相馬校長)	<ul style="list-style-type: none"> ・鱒中は、全体的に落ち着いて素直な子が多い学校である ・鱒ヶ沢町は、学校に協力・支援してくれる地域住民の方が非常に多いと感じている ・中学校で人数が減ると困ることはクラスが減ることであり、推移からするとこの先に40名以下の入学者数が見込まれており、1クラスになることが懸念される(教室の大きさ、教員数の減など) ・小・中学校の教員が連携していくことが大切であり、その一つの例では小中学校の校舎を隣接させて算数や英語、総合的な学習など、相互に連携できる小中連携校があり、また小中学校を一つの学校にして授業を行う小中一貫校があるが、どちらも児童生徒の教育としては最高の環境であると思う

※参加者からの意見・要望等のまとめ（一部抜粋）

No.	意見・要望等
1	先ほどの話を聞くと、できるだけ統合していくべきと感じた
2	深浦町の大戸瀬地区の子どもたちが距離的にも近いので、鱒ヶ沢の学校に入れたらいいのではないかと話を聞いたこともあるが、そうした広域的なことも視野に入れてもいいのではないか
3	町教育委員会や各学校ではどう考えるか聞きたい ⇒（議長より）今この場で学校長や町がそのような意見を述べることはできない
4	我が子も複式や統合を経験したが、地域から学校がなくなることはその地域にとっては大きな問題で、地域と学校との距離感が出てしまうので、そういうことを考えると人数が少ないことが理由なら現状維持でもいいと感じる
5	資料や話を聞くと考えるべき課題は多いと感じているが、自分の子も複式を経験したが、児童も保護者も様々な面で難しい場面が多かったので、複式学級ができない環境にすることが望ましいと感じる
6	複式学級のメリットとデメリットを聞きたい ⇒（教育長）担任が1名で学習するので、どちらかの授業の時はもう一方の学年は自分たちで自習などをするようになるが、そうした体制で児童の自立性を養うことができる、デメリットはその逆に授業が半分しか受けることができないこと よく聞く話では、複式学級を経験してきた児童は中学校や高校でも、非常に主体的な活動をする子が多いと言われている ⇒（森山校長）協力的な学習を身に付けることができ、自主的な学習態度も育まれていく、また学年が違うので上下関係が身に付く
7	現在いる子どもたちのことを考えることは重要であるのと同時に、町から出て仕事をしている若い方が町に戻って来られるような体制を考えていくべきだと思う
8	学校は地域と家庭を繋ぐ拠点だと思うので、この話し合いは重要なことと感じている、小学校だけでなくこども園の時から対策も併せて考えていくべきだと感じている
9	舞戸小学校が築27年であるが、やはり統廃合を見据えて改築を保留としているのか ⇒（櫻井課長）統廃合を考えて改築をしないのではないが、舞戸小学校は他の学校に比べるとやや新しい基準の建物でもあり、町としても概ね30年を目途にして近い将来に大規模改修を検討すべきと考えているところ
10	いろいろ調べてみると、当町の2045年には人口が4000人を切るとのデータがあり、その頃の児童生徒は今の約700人から150人にも満たなくなると言われているので、小・中学校だけの話ではなく高校も含めた町全体的な子どもたちのことを考えていきたいと感じた
11	統合により地域から学校がなくなるのは非常に辛いことであり、子どもたちの活躍

	<p>の場が見られなくなるが、これまでの話や子どもたちの地・徳・体の教育のことを考えると小中一貫した教育体制が理想だと感じる</p>
12	<p>質問になるが、スポーツクラブで一方の学校に偏る傾向があるとのことだが、どう感じるのか聞きたい</p> <p>⇒（参事）小学校の部活動の廃止に伴って、その学校の保護者などが設立させた経緯があるので、どうしても部活動があった学校の児童たちは関わりやすいが、他の学校の児童は関りが少ないということ</p>
13	<p>先ほども話にあったが、私も若い方を町に移住定住させていく取り組みで、少子化を少しでも食い止められるのではないかと感じている</p>
14	<p>先ほどの説明であと1人増えたら2クラスとか、少人数のほうが先生の目が届きやすいなどを聞くと、もしも学校に空き教室があるのなら人数が少なくても自由に2クラスにしたりはできないものかと感じた</p> <p>⇒（教育長）学級の人数は国の法律で決まっているし学校の先生は県から給料をもらっている状況で、クラスが増えるとやはり先生の数も増やさなくてはならずで、そうした中で町独自の経費で先生を雇っている自治体も確かにあるが、相当な財政力がないとできることではないので簡単なことではない</p>
15	<p>簡単な問題ではないと感じているが、この問題は長期的、中期的、短期的に考えていくことが重要であると感じ、経済的なことや社会的なことなど子どもたちがきちんとした学びができ心豊かな子に育っていく、様々なことをみんなで考えて行かなくてはならない重要なことであると思う</p>